

部 会 報 告

令和5年度第133回建設施工研修会（映画会）開催報告

広報部会

1. はじめに

建設施工研修会は、協会内の広報部会における事業活動の一環として、昭和55年度以来、各種の工事記録や施工法などの紹介を目的にあらゆる建設会社から記録映像を借用し、『最近の機械施工』と題した「映画会」という位置づけで開催を続けております。

現在は「建設施工研修会」と改名し、上映内容の範囲拡大と共に建設会社以外からも多くの映像をご提供いただき、近年において製作された新工法・新機種などに関する映像は「先端技術、環境、安全・安心に配慮した機械・施工・技術等及び新工法」へと多角的な視点から技術を深掘り紹介し、建設の機械施工の進化を追い続けることで133回目を迎えることになりました。

本年も、各支部の協力を得て全国5会場（東京本部：6/21、東北支部：7/3、中部支部：9/21、関西支部：10月中旬、四国支部：10月下旬）で順次開催することが決まっており、多くの会員様に有意義な情報共有の場を設けることができ、事務局としては大変感謝しております。

新型コロナウイルスも本年5月のGW明けに5類感染症に移行いただきましたが、東京本部は「ニューノーマル」に沿った企画の実施を意識し、本年も引き続き通常参加者数を制限し、Zoom配信のハイブリッド開催にいたしました。

11名の通常参加と135名（ライセンス分）のZoom参加希望者のお申込みを事前にいただき、以下にハイブリッド方式による東京本部での開催結果を報告させていただきます（写真1～3）。

2. 東京会場開催報告

【概要】

令和5年度 第133回建設施工研修会実績

開催日：2023年6月21日（水）

場所・参加方法：機械振興会館 地下3階 研修-1号
会議室（定員60名／120収容部屋）、
Zoom配信（上限500ライセンス可）

時間：13：10～16：00

プログラム：表1の通り

聴講者数：通常聴講11名、WEB聴講116ライセンス（1ライセンス複数聴講人員は不明）

映像は、13の会員組織（建設機械メーカー6社から12タイトル、建設会社1社から1タイトル、情報機器メーカー、コンサルタント4社から6タイトル、レンタル会社2社から3タイトル）のご協力により、全部で22タイトルの上映となりました。

又、本年は東北支部会員、中部支部会員様からも映像提供いただきました。

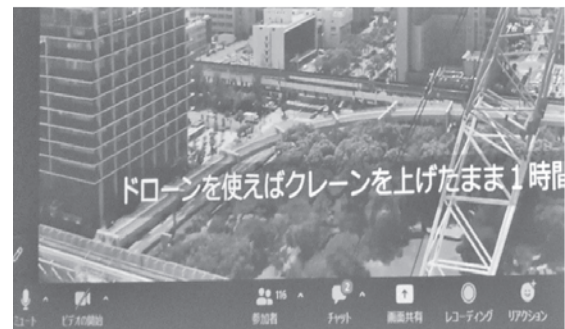


写真1 100人を超えるZoom聴講者数



写真2 会場聴講者

3. 今年の傾向



写真一三 ハイブリッド開催によるソーシャルディスタンス

昨年まで、あらゆる分野において取得データを可視化する技術開発を紹介する映像が多かったですが、今年は製造業やレンタル業によって可視化したデータの有効活用に踏み込んだ技術発表が目立っているように感じられました。

AR技術の発展から、この1～2年で急速に遠隔臨場のハードルが下がり、「施工計画自体の可視化・普及」にまで努める会社の映像を見た際には、人手不足によ

表一 第133回建設施工研修会（映画会）プログラム

No.	タイトル	製作年	上映時間	提供者
1	スマートコンストラクションムービー「Hello New World」	2021年	4	コマツ
2	スマートコンストラクション Stage2 バックオフィス編	2023年	5	コマツ
3	K-D2 PLANNER [®] 製品版 プロモーションビデオ（機能紹介） [コベルコ建機 商品紹介]	2023年	5	コベルコ建機(株)
4	コベルコ建機の環境リサイクル機械 2022 ～働き方改革,そして未来の現場を見据えて～[K-DIVE コンセプト映像]	2022年	4	コベルコ建機(株)
5	ミニショベル向け衝突軽減装置 OmniEye [®] （オムニアイ） [コベルコ建機 商品紹介]	2022年	3	コベルコ建機(株)
6	HSC CRANES [C-SAI] クレーン起立外観検査システム	2021年	3	住友重機械建機クレーン(株)
7	千葉ドローン実証ワンストップセンター 「ドローンによるクレーン点検実証実験」	2022年	3	住友重機械建機クレーン(株)
8	ロックボルト施工機「ボルティンガー B32RL」	2023年	5	古河ロックドリル(株)
9	密閉式吊り下げ型コンベヤ SICON ～環境に優しい新しいコンベヤ～	2021年	5	古河産機システムズ(株)
10	地下水関連技術の紹介	2023年	20	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング
11	調査・維持管理 斜面の三次元計測	2023年	3	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング
12	ARで3次元データを可視化 Trimble SiteVision	2023年	15	サイテックジャパン(株)
13	持続可能な新たな社会へ Let's fly to the moon 圧入工法の新たな挑戦	2023年	4	(株)技研製作所
14	高精度な杭の施工管理を実現する インプラント NAVI [®]	2023年	7	(株)技研製作所
15	圧入原理の優位性と ICT の融合で現場の生産性を向上させる PPT システム [®]	2022年	6	(株)技研製作所
16	クラウドサービスが働き方を変える～CINPHONY Plus のご紹介～	2023年	21	福井コンピュータ(株)
17	3Dを外に持ち出せ！これがDXの真骨頂！ ～CINPHONY Plus と FIELD-TERRACE 活用事例～	2023年	15	福井コンピュータ(株)
18	GNSS マシンコントロールショベルシステム X-53x Auto	2019年	3	トプコンポジショニングアジア
19	後付け衝突軽減システム搭載コンバインドローラ	2022年	3	(株)アクティオ
20	マジックシャッター（ホコリ飛散間仕切りシート）	2022年	2.5	(株)アクティオ
21	安全体感 VR トレーニング	2022年	3	(株)レンタルのニッケン
22	ブルーフローリング試験のデジタル化技術『ブルフロ・i』	2022年	2	(株)NIPPO

り点々と始まった ICT 技術の現場導入が、点群データの活用はもとより、「計測」自体のデジタル化、運転しているだけでデータが蓄積、事故の軽減に繋げるサイクルを構成し、現場の問題解決と同時に生産性向上も叶えていくという変革が、『業界あげての DX』によってスタンダードへと変わってきていることに気づかされました。

又、先述の様に、そもそも視覚的に見えている地上の問題点可視化だけでなく、本来見えていない地下(地盤)自体の可視化技術に関する開発が目立ってきたのが今後の特徴的であったと思います。

4. 今後について

事務局も素人ながら、「点」であった技術がブラッ

シュアアップされて「線」を成し、「面」的に業界の問題をクリアしていく様は毎年映像を通して勉強させていただいております。

これからは、「面」が繋がりがあい、幅と高さが生まれるのだろうかなど想像した時、かつて「施工計画」⇒「本施工」⇒「完成検査」⇒「維持修繕」を円滑にする『パッケージ』を構築したいとおっしゃっていたある会員様の構想が頭を過り、その具現化はすぐ目の前ではないか！そして来年以降は可視化された技術の応用活用の発表がまた増え、「面」が強化されていくのだろうかと期待が膨らむばかりです。

【筆者紹介】

松本 寛子 (まつもと ひろこ)
(一社) 日本建設機械施工協会
業務部

